

JOYO BANK NEWS LETTER

2024 年 12 月 26 日

JOYO GXプロジェクト 2024 年度上期の取り組み結果について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、全行で統一して環境負荷の低減に取り組む「JOYO GX（グリーントランスフォーメーション）プロジェクト」における 2024 年度上期の取り組み結果について、下記のとおりお知らせいたします。

当行を含むめぶきフィナンシャルグループは、「グループサステナビリティ方針」および「グループ環境方針」を定め、2030 年度までに自社グループの CO2 排出量をネット・ゼロとすることを目指しています。本プロジェクトは、当行全営業店および本部において、事業活動における電力使用量および紙資源消費量の削減目標を設定し、CO2 排出量を削減していくもので、2024 年度下期も取り組みを進めております。

当行では、今後とも役職員へサステナビリティへの取り組みの浸透を図るとともに、持続可能な社会の実現に向け、省エネ・省資源への取り組みを積極的に推進してまいります。

記

1. JOYO GXプロジェクトの概要

名 称	JOYO GX（グリーントランスフォーメーション）プロジェクト 2024
対象部店	全営業店・本部
実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
削減対象	① 節電（当行全施設における電力使用量の削減） ② 通帳レス（紙通帳から WEB（無通帳）口座への切替推進による紙資源の節約） ③ 印刷レス（業務デジタル化による紙使用量の削減）

2. 2024 年度上期（2024 年 4 月～2024 年 9 月）CO2 排出量削減実績

項目	内容
CO2 排出量削減実績	265 トン
年間目標に対する進捗率	53.0%（年間目標 500 トン）
2023 年度上期削減実績比※	116 トン（前年同期比でさらに 116 トンの削減となりました）

※算式 2024 年度上期削減実績 265 トン÷2023 年度上期削減実績 149 トン＝116 トン

3. 2024 上期の取り組みと、下期の展開について

2024 年度上期は、各営業店・本部における印刷枚数の見える化、社内文書やお客さまへの交付資料の電子化、電子契約の対象となる取引の拡大により紙使用量の削減が進みました。

C02 排出量は、プロジェクトを通じ前年同期比でさらに 116 トン削減することができました。なお、2024 年度の電子契約件数は、約 2 万件を見込んでおり、2023 年度の 2 倍となる予定です。

2024 年度下期についても、効果的な取り組み事例を全行に広げ、またデジタルを活用した業務効率化等を継続することで C02 排出量の削減に貢献してまいります。

4. 取り組み優良店への AR（拡張現実）を活用した表彰状の贈呈について

2024 年度上期の取り組み優良店 12 店舗に対して、AR（拡張現実）を活用した J O Y O G X プロジェクトマスコットキャラクター付き表彰状を贈呈しました。

今回の AR 活用は、将来的な AR 技術の当行業務活用に向けた一歩として位置づけています。

当行では、お客さまの利便性向上や、高品質なサービスの提供に向けて今後も新たな技術の活用にも積極的に取り組んでまいります。

<AR を活用した表彰状イメージ>

取り組み優良店には表彰状の代わりに AR マーカー※を送付。AR マーカーを持った行員をスマホから見ると、GX プロジェクトのマスコットキャラクターひかりちゃんが表彰状を行員に手渡している姿を見ることができます。

※現実空間にデジタルコンテンツを重ねて表示できる「AR（拡張現実）」を表示させる目印となるもの



以 上